

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 47 | 各委員会を立ち上げても問題解決にあたっているが、入浴、排泄に関しての委員会がない、つくったほうが良いのではと助言をいただく。現在は個々の定期的カンファレンスで問題提起、解決に職員全員であたっているが、専門に委員会を立ち上げたほうが、早期に問題が発見できるのでは。 | 個々の排泄パターンの把握、泌尿器疾患の異変の早期発見、できる限りの自立支援。入浴に関しての問題、入浴拒否の入居者様に対するの対応等を相談していく。 | すぐに入浴排泄委員会を立ち上げ、入浴排泄を入居者様個々ができるだけ自立していけるように、支援していく。問題や異変を早期に発見し解決できるように、個々の排泄パターンや尿量、尿取りパット等の交換枚数も記録。職員全員が把握し、1カ月に1回委員会開催を行なう。 | 1ヶ月 |
| 2 | 49 | 入浴時間に関して、現在は午前中に入浴時間を設定しているが、夜間覚醒する入居者様も朝なかなか起きられ朝食が遅れたり、ぼーっとされている入居者様もいる。午前中はなにかと職員もバタバタし、時間に追われる雰囲気が入浴していただいているため、もっとゆったり落ち着いて在宅時のように夕食後に入浴が可能になれば、昼夜逆転も少しは改善されるのではとも話し合っている。 | 入浴の時間帯を、午前中→夕食後に変更して、家庭にいるように落ち着いて入っていただく。夜間中途覚醒することなく、ぐっすりと眠っていただき朝スッキリと目覚めていただく。 | 職員配置・勤務マニュアル等の見直しを行なう。入浴時間帯に安全に入浴していただけるように職員を配置するため。午前中勤務のパートの時間帯の見直しを行なう。それに伴い洗濯の時間の見直しも行なう。 | 6ヶ月 |
| 3 | 2 | 市から認知症カフェの定期開催を依頼されているが、なかなか開催できずにいる。人員不足、知識不足がある。 | より地域に密着したホームになる。認知症カフェの開催。 | 他認知症カフェの見学・体験等を行ない、行政指導の下開催する。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。